



潮志い

No.105

2011(平成23年)5月発行

ながす議会だより

発行/熊本県長洲町議会



5月3日 第16回火の国 長洲金魚まつり

『みんな夢中』

3月定例会

23年度一般会計予算を可決 58億4300万円	2~3
23年度特別会計予算	4
町内初! 指定管理者を指定(スポーツセンター)	5
一般質問	
町政の課題など 7名が問う	6~9
22年度補正予算(町内学校へ扇風機を設置)	10
常任委員会研修報告	11
国へ意見書提出	12
特集!『議会50年の歩み』昭和46年~50年編	13
町民のひろば	14

58億4300万円

前年比 1億4300万円増 (当初予算比)

平成23年第1回定例会は3月11日開会し、24日まで開かれた。町長提出の議案は、補正予算3件、当初予算7件、条例制定及び改正が7件、その他2件が提案され、全議案可決した。また一般質問には7名が登壇し、施政方針についてなど町長の考えを問うた。

主 な 質 疑

【歳入】

(浦辺議員)

問 国からの負担金の歳入が4000万円と大幅な伸びだが。

答 (総務課長) 子ども手当での拡充が主な要因だ。

問 (樋口議員) 女性特有のがん検診の中味は。

答 (福祉保健介護課長) 特定年齢の女性に対する無料クーポンの交付による乳がん・子宮がん検診推進事業である。

問 (宮本議員) たばこ税が昨年より約1500万円増の見込みだが。

答 (税務課長) 健康志向の高まりにより喫煙者は減少傾向だが、たばこ税の増税

により増収の見込みとなる。

(徳永議員)

問 農地水保全管理交付金向上活動支援事業補助金とは。

答 (建設農政課長) 以前からの農地水事業に変わるもので新たに2本立ての新事業を含むものである。

問 (池上議員) 住民税の特別徴収の現在の滞納状況は。

答 (税務課長) 昨年は13社、滞納額は185万円。現在は6社、33万の滞納額だ。顧問弁護士と相談して対応を図り、今後は滞納整理の段階に入らざるを得ないと考える。

(磯野議員)

問 住宅用太陽光発電

システム補助費とは。

(まちづくり課長)

答 設置費の一部を補助するもので1キロワットあたり2万円以上限を6万円とし、40世帯分を予算計上するものだ。

(市原議員)

問 緊急通報体制等整備事業の内容は。

答 (福祉保健介護課長) 心臓、脳血管疾患等を患う65歳以上のひとり暮らし方を対象にした急病や災害等緊急時に消防本部に直接つながる緊急通報装置を貸与するものだ。

(浜村議員)

問 クリーンパーク費の2433万円増の要因は。

答 (総務課長) 5年間の保証期間が切れるため、計画的な

維持メンテナンス費用の増額。

(福永議員)

問 議員共済会負担金3717万円あまりにも高額だ。内容は。

答 (議会事務局長) 議員年金廃止措置に伴い給付に有する費用の一部を地方自治体で負担するものだ。

(川本議員)

問 防災計画の大幅な見直しが必要と思うが。

答 (総務課長) 地震のときの避難場所が標高の低いところに指定されている。今後じっくりと地震についての計画も立てていく。

◆ 反対討論

川本 幸昭議員

この予算に町民の要求を反映していることは評価できるが、町民に負担を押しつけている「緊急行財政行動計画」の路線を継続していることは問題である。失業や雇用不安は解決されず、地場産業も一部を除

● 賛成討論

浦辺 朝章議員

新年度予算編成は、厳しい町財政状況の中、第5次長洲町総合振興計画に掲げる施策の推進と多様な町民ニーズに対応するための事業に重点をおいている。特に「予約型乗合タクシー」の運行は高齢者などの交通弱者の身近な足として期待できる。他に「多子世帯保育料の無償化」や「図書整備事業」「住宅用太陽光発電システム補助金」など「生活基盤の整備」「子育て支援」「教育」に重点をおいた予算編成となっており評価する。












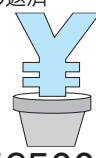
賛成多数で
可決

賛成10:反対3

平成23年度

一般会計予算

項目別歳出予算額

<ul style="list-style-type: none"> 議会費全般  <p>議会費</p> <p>1億2159万円 (9297万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉費 児童福祉費  <p>民生費</p> <p>18億1044万円 (17億5303万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総務管理費 微税費  <p>総務費</p> <p>11億8159万円 (12億4509万円)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 商工振興費 観光費  <p>商工費</p> <p>2989万円 (2782万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業費 水産業費  <p>農林水産費</p> <p>1億7911万円 (2億2218万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生費  <p>衛生費</p> <p>3億2105万円 (2億9454万円)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 学校管理費 小中学校費  <p>教育費</p> <p>4億2194万円 (4億6302万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 非常備消防費 消防施設費  <p>消防費</p> <p>5214万円 (4993万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路橋梁費 土木管理費 都市計画費  <p>土木費</p> <p>10億3272万円 (8億9279万円)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 予備費  <p>その他</p> <p>2737万円 (3232万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧費  <p>災害復旧費</p> <p>11万円 (11万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 借入金の返済  <p>公債費</p> <p>6億6500万円 (6億2615万円)</p>

()内の金額は平成22年度の当初予算額

地方議員

年金廃止へ

議員構成の変化や制度の構造的な問題等により収支が悪化をたどり掛金の引き上げ、給付の引き下げ、公費負担(地方自治体)の引き上げなど様々な制度変更が試みられたが平成23年度中に町村議会議員共済会積立金は枯渇が見込まれる見通しとなった。

平成23年1月25日付

『地方議員年金制度の見直しについて総務省対応方針』

廃止に必要な財源は各地方公共団体が負担することとされた。

平成23年3月

閣議決定

『平成23年6月1日をもって地方議会議員年金制度廃止』

平成23年4月

『平成23年通常国会に廃止措置』の
法案提出

平成23年度

特別会計予算

国民健康保険

反対討論

川本 幸昭 議員

〔内容〕 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ20億5580万円とする。

〔答〕 (税務課長) 滞納者数は国保、一般税含めて約860人であり、差し押さえの件数は、昨年4月から12月末までで1222件。そのうち国保税に関しては50件で充当額126万7千円。

〔主な質疑〕 (市原議員) 特定健康診査事業費2500万円計上されている。目標受診率58%をクリアするための方策は。

〔答〕 (川本議員) 差し押さえの対象となる悪質な滞納者の判断とは。

〔答〕 (福祉保健介護課長) 昨年は8月の暑い時期実施したこともあり受診率が落ち込んだ。今年6月中旬の実施を予定、さらに電話勧奨等も取り入れたい。

〔答〕 (税務課長) 非常に難しい問題だ。まず最初に納付相談を実施。その次の段階が納付誓約書となる。それでも納付がない場合、滞納処分となる。いろいろな状況を把握し、どうしても誠意がないとか、支払う能力があるのに払わないとかそういうのを判断し差し押さえとなる。

〔問〕 22年度に滞納処分が強化されたと思う。現在の滞納者数と滞納処分の中味は。

〔答〕 (川本議員) 平成20年に国保税の大幅な値上げにより所得の15%を超える税額のため、町民の暮らしは厳しい。いま必要なのは、高すぎる国保税を引き下げ、町民の命と健康を守るべきだ。

そのために、国に負担を求めること、町も基金や一般会計から繰り入れを行い、福祉の心を持つ町づくりを目指すべきだ。滞納整理については、生活状況を見ながら、分納や支払い猶予など、きめ細かい町政を目指すべきだ。差し押さえや搜索は直ちに中止を求める。

賛成討論

浜村 芳光 議員

国民健康保険制度は我が国の国民皆保険制度の基盤として、国保被保険者の医療の確保に寄与している。現在、国民健康保険を取り巻く現状は厳しく、被保険者の高齢化等により医療費が増加している。このような中で、平成23年度予算は、受診率向上のため事業見直しのひとつとして、若年層を対象とした健診を行い、生活習慣病予防を通じて、将来の介護・福祉を視野に入れた医療費削減に力を入れたものであり、この予算に賛成するものだ。

賛成多数 可決

介護保険

〔内容〕 歳入歳出それぞれ15億751万円。

〔主な質疑〕 (川本議員) いま、施設に入れない人は、在宅介護が大変な状況だ。24時間ヘルパー事業を検討すべきではないか。

〔答〕 (町長) 在宅介護のつらさは私も理解している。ヘルパーの養成、介護予防の充実も含め、取り組んでいきたい。

賛成多数 可決

後期高齢者医療

〔内容〕 歳入歳出それぞれ1億9110万円。

賛成多数 可決

公共下水道

〔内容〕 歳入歳出それぞれ13億3995万円。

〔主な質疑〕 (浦辺議員) 現在の水洗化率と下水道普及率は。

〔答〕 (下水道課長) 22年の3月末で、水洗化率83・7%、普及率95・4%。融資のあつせ

ん、設備の紹介などしながらさらに進めていきたい。

〔答〕 (川本議員) 繰入は計画どおりになされているか。

〔答〕 (下水道課長) 緊急行財政行動計画にもとづいて繰入している。

浄化槽施設整備事業

〔内容〕 歳入歳出それぞれ1993万円。

賛成多数 可決

水道事業

〔内容〕 収入 2億6918万円 支出 3億2701万円

〔問〕 (福永議員) 給水量は減少しているのか。

〔答〕 (水道課長) 給水量は0.6%の減。給水件数は0.2%の増。

〔問〕 (川本議員) 漏水調査の結果は。

〔答〕 (水道課長) 平成22年度は49件で年々ふえている状態。

賛成多数 可決

町スポーツセンター 指定管理者を導入

町内初



住民サービスの向上に期待

●長洲町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
指定管理者となる団体
(株)サンアメニティ
代表取締役 吉澤幸夫

〔主な質疑〕

問 (川本議員)

プールもあり、水の事故等を危惧するが職員の配置は万全か。

答 (総務課長)

正社員3名非常勤1名パート4名で対応するが夏場はさらに5名増員する。

問 (川本議員)

指定管理者になったら住民サービスは向上するのか。

答 (教育長)

トレーニング室の機器を導入して、利用者のニーズに対応し、夏季においては利用時間を延長するなど取り組む。

問 (福永議員)

指定管理者導入について、情報公開条例を作るべきだ。

答 (総務課長)

今後、条例改正に向けて検討する。
賛成多数 可決

条例の改正

●長洲町大規模太陽光発電設備設置促進条例について

対象事業者

最大出力が50キロワット以上の大規模太陽光発電を新たに設置した事業者。
建設される設備に新たに固定資産税が課せられることになった課税年度から3カ年度において、固定資産税額を1/6減額する。

〔主な質疑〕

問 (福永議員)

大規模太陽光発電設備にかかる固定資産税の減額の措置を講じる理由は何か。

答 (まちづくり課長)

その整備を支援することが、町のイメージアップにつながり、さらには設備投資による工場拡大など地域の活性化の面からも有用である。

問 (川本議員)

固定資産税の減額

の措置を講じる必要はないのでは。

答 (町長)

メガソーラーの建設促進と、今後、雇用の拡大につなげていくために必要だ。

●長洲町住民生活に光をそそぐ基金の制定

〔内容〕

町内において多重債務等に陥らず、地域住民が安心した生活を送れるようにファイナンシャル・プランナーや弁護士等による個別相談会やセミナー等を開催するために要する費用を基金に積み立てる。

●長洲町収入印紙等購入基金条例の制定

〔内容〕

旅券(バスポート)発券事務を行う。

全員賛成 可決

●長洲町国民健康保険条例の一部改正について

〔内容〕

暫定的に引き上げられた出産育児一時金の額を恒久化する。
「35万円」→「39万円」

●長洲町ふれあいセンター条例の一部改正について

〔内容〕

地域福祉の拠点として有料貸館を廃止する。

●長洲町国民健康保険条例の一部改正

〔内容〕

天災その他これに類する災害により資産及び農水産物に損失を受けた場合に減免するもの。

●長洲町漁場環境保全創造事業に伴う分担金徴収条例の一部改正について

平成23年度に県営の覆砂事業が実施されるに当たり、熊本北部漁業協同組合、旧長洲漁業協同組合から分担金を徴収する。

全員賛成 可決

全員賛成 可決

一般質問

町政を問う

<p>浜村 芳光 議員</p>	<p>1. 施政方針について (地域活性化など)</p>	<p>磯野 博 議員</p>	<p>1. 公共施設について 2. 住民生活環境施設について 3. 狭あい道路について</p>
<p>池上 満則 議員</p>	<p>1. 施政方針について (読書環境の向上にむけた施策など) 2. 交通行政について 3. 教育行政について</p>	<p>樋口エミ子 議員</p>	<p>1. 本町の農業の実態、食と農について 2. 町と学校教育の中での食育について</p>
<p>川本 幸昭 議員</p>	<p>1. 施政方針について (緊急行財政行動計画の見直など) 2. 教育方針について</p>	<p>宮本哲太郎 議員</p>	<p>1. 相談行政について</p>
		<p>市原 一広 議員</p>	<p>1. 平成22年度施政方針について 2. 施政方針について (新幹線開業とまちづくりなど) 3. 教育方針について</p>

問 多くの人が長洲町に住みたい、訪れたいと思えるような魅力あるまちづくりと

答 (町長) 今後、利便性のいい場所に長洲町住まいづくりの基

問 町長が思われる将来的な宅地化とは。

答 (町長) 定住化策としては、住宅地や町営住宅の開発などハード面での調査や、子育て支援の拡充策・定住化のための住宅建設優遇策、あるいは転入者促進策などソフト面の施策を内容とする。

問 「定住化を目指すし、住宅地開発や交流人口の増加による地域活性化」とは。



浜村 芳光 議員

「定住化を目指すし、地域活性化」とは



まちの定住化策に期待

答 (町長) メガソーラー施設を環境のシンボルとして環境に向けた教育の発信、グリーンパークファイブと併せたこみ減量の施設の充実をはかり、まちのシンボルとしては、金魚の館を本年度中に改修して平成24年4月から

は。また、町のシンボリックな施設を将来的に考えているか。

「定住化を目指すし、地域活性化」とは

答 (町長) 多くの方が参加できる健康マラソン大会に向けて関係団体と協議する。

問 プレミアム商品券発行事業とは

答 (町長) 多くの方が参加できる健康マラソン大会に向けて関係団体と協議する。

問 健康づくりに取り組む環境整備の一環として、また町の活性化のために各種イベントと連携した健康マラソンを新たに実施する考えは。

開業し多くの人が長洲町に来るような施設として充実したい。



池上 満則 議員

住民の交通安全は保たれているか!!

問 町道の塩屋赤崎線は塩屋から向野の町道上沖洲鷺巣線との交差点間は大型車は通行禁止であるが、大型車が通行し住民の通行に支障を来たしている。高齢者が運転する車が多くなっている現在、事故が発生したら悲惨である。早急な改善と対策を求める。

答 (町長) 塩屋赤崎線のこの区間は狭あい道路の安全を確保するため大型貨物車の通行規制となっている。この区間を日常通行している大型貨物車は、町が確認しているのはJ A玉名長洲供給センターへの資材などを搬送している車である。荒尾警察署から通行許可証が交付されている。

問 なぜ、警察署は許可を出しているのか。

答 (総務課長) 警察署に確認したところ、署長が法令で定め「やむを得ない理由がある時は通行を認める。」このやむを得ない理由とは「貨物の集配その他公安委員が定める事情がある時」に該当しているので許可している。

問 住民の安全を守るため、経済的なことを優先するのか、誰が判断して警察署と交渉するのか。

答 (総務課長) 警察署へ改善の協議に行く。

問 必ずしも大型車でなくても中型車などを使用する方法もあると思うが。

答 (総務課長) 4t車などで搬送すれば安全性が増すので警察署と協議したが、J Aの経済的なことを考慮して許可してあると推測している。

問 子どもの医療費は県内でも中学生3年まで無料化が増えている。玉名郡では3年で、特に和木町では高校3年まで拡大される。長洲町でも実現を求める。

答 (町長) 子どもの医療費無料化については、財政状況を見ながら対象年齢の拡大を検討したい。

問 赤ちゃんへの均等割の減免については今後検討したい。



川本 幸昭 議員

福祉の心をもつ 町政の実現へ

問 赤ちゃんへの均等割の減免については今後検討したい。

答 (教育長) 子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力に身をつけていくためには、食が大切であり、子どもの発達段階に適切な食の体験と学習が必要となる。学校においては、食育については、知・徳・体と同じように大切なものととらえている。

問 ある自治体では、知・徳・体に食を加えてこの4つが教育という方針をもっている。長洲町の学校給食については財政問題より教育委員会の姿勢が問題ではないか。

答 (町長) 子ども医療費無料化については、町民の所得状況や医療費の推移を見ながら、7月の本査定時に検討したい。



地産地消の給食を

給食センター建設には財政問題がある、そこで炊飯器を利用した自校方式で地産地消、地元米、野菜、魚を食べるのが一番の食育であり、農業振興にもなると思うが。



磯野 博議員

住民一丸となったまちづくりを

問

東京の世田谷区では道路づくりはまちづくりという標語で地域住民と一体となって取り組んでいる。また東京下町の方ではセツトバック部分を自治体に寄附する方も多いと聞く。

答

①(町長)町としても住宅促進を図るうえで議論する必要がある。
②(建設農政課長)熊本市、菊陽町はそのような要綱がある。町も検討したい。

問

③(町長)本町では狭い道路がまだたくさんある。これらを踏まえ十分検討する。

問

《住民目線の安全を》
社会資本整備によって建設され



道路行政もまちづくり

答

(町長)施設の維持管理と利用者の安全性は重要だ。計画的な取り組みの中で進めていきたい。

問

《公園の整備促進を》
西荒神の港ちびつ子広場は地域住民の憩いの場所である。グラウンドゴルフが出来るような整備をしてはどうか。

答

(まちづくり課長)海の玄関口として模索し検討していく。



樋口エミ子議員

市民農園づくりを町に提言

問

遊休農地の現況と活用対策を問う。

答

(町長)22年度は耕作放棄地再生利用緊急対策事業の国費を活用し、農業法人により万次郎カボチャが作付された。また23年度予算で耕作放棄地の解消対策として町独自の支援を計画している。

問

《食育の大切さを認識しているのか》
2月に住民サークル母乳育児「給食を考える会」が食育フォーラムを開催された。九看大教授の「食べ物を変えた」の講演や学校給食に無農薬野菜の栽培を取り組みそれが政治のトップ政策、国をも変えていったドキュメント映画、またオーガニック市など大盛況であった。町として食の認識、食育の考えは。

答

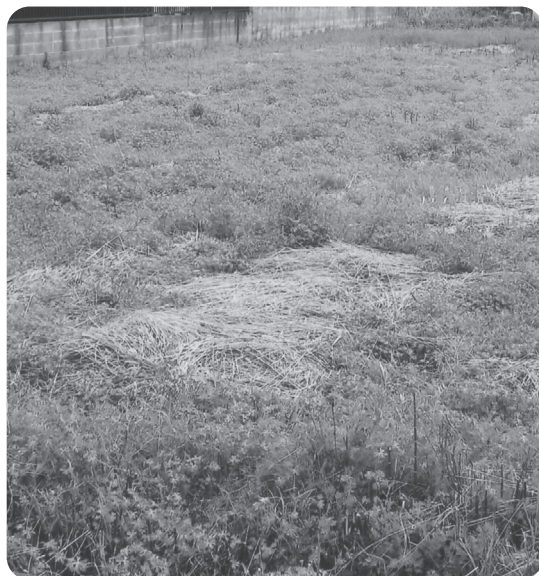
(町長)子ども、大人にとっても食育は非常に重要なことと認識している。学校教育では教科道徳、学級活動また特別活動の給食指導に位置づけ取り組んでいる。

問

日本の農業が危ないと言われている一方、農業ブームも起こっている。農地法の改正で市町村が遊休地など農地を借りて農園づくりなど他市町村でも行われている。本町でも野菜づくりの市民農園を各校区ごとに提案するが町長の考えは。

答

(町長)今後遊休地、耕作放棄地対策として町、県と一体と



荒れたままの遊休地



宮本哲太郎 議員

「行政相談」

さてその範囲は？

問 相談行政窓口として町はどの範囲まで受け付けるか。

答 (町長) 住民同士、いわゆる民事のトラブルについては、行政機関は中立的な立場を保つ必要があるので介入は行っていない。

士会が運営している紛争解決センター(通称ADR)の内容は、家の貸し借り、土地の境界、商品の欠陥、身の回りの問題をめぐってトラブルが起きたときに、お互いの話し合いにより解決

しようと弁護士が介入すること。その他弁護士が介入する場合は、紛争センターと、もう一つ、日本司法支援センター(法テラス)とがあり、これについては、弁護士費用が払えない方など、条件はあるが収入などの低い人はそのようなところへの相談も可能かもしれない。結論としては純然たる民間同士のトラブルには行政は介入していない。

問 隣人トラブル等についてはいかがなものか。

答 (総務課長) 隣人同士、いわゆる民間対民間に対する苦情に、町は相談の受け付けをしていない。また、弁護



行政の相談ごと(民事はダメ)



市原 一広 議員

「新幹線・特急の存続」

をどう活かす！

答 (町長) 3月12日開業の九州新幹線は、大きな夢と希望またチャンスを与えてくれるものだ。九州新幹線という縦軸ができたことにより、交通アクセスを含めた横軸の強化が必要となってくる。そこで、有明広域圏はもとより、大牟田市などの県境を越えた観光ルートの確立や、雲仙市、島原市と連携し有明フェリーを活用した横軸の強化による地域の活性化を検討している。

マにした観光コースを設定し、パンフレットを関西、関東の観光業者やマスコミに配布し新しい交流人口を呼び込もうとする事業だ。また有明フェリーとJR長洲駅との接続の利便性にも取り組んでいきたい。

問 長洲駅に停車する特急に関して

は、町長はじめ多くの人達のご尽力により何とか廃止はまぬがれた。ただJRも民間会社であり長洲駅からの特急利用者が減少すれば、また廃止の方向に進むのではと危惧する。特急の利用が増となる施策や仕掛けが必要ではないか。

答 (町長) 特急が存続したことに深く感謝をし、在来線も含めた利用者の増に努めていかなければと思う。町民と一致団結し取り組んでいきたい。

答 (まちづくり課長) 荒尾玉名・大牟田県境観光事業を立ち上げ修学旅行誘致に取り組んでいる。これは、トステムのメガソーラー、荒尾市の万田抗、大牟田市の石炭科学館といったエネルギーや環境をテ



大きなチャンスに!!

町内商店の活性化に向け!! プレミアム商品券 上乘せ分を補助

繰越明許費補正

役場庁舎等トイレ改修事業	235万円
保育所図書等整備事業	100万円
名石浜2号線雨水排水溝改良工事	1500万円
一先宮トイレ改修工事	63万円
金魚の館修繕事業	8758万円
プレミアム商品券補助事業	500万円
小学校設備設置事業	397万円
小学校図書及び学習用備品等整備事業	495万円
中学校設備設置事業	180万円
中学校図書及び学習用備品等整備事業	204万円
中央公民館施設設備改修事業	195万円
町図書館図書資料等整備事業	401万円
町図書館ホームページ更新事業	293万円
町図書館照明設備改修事業	600万円

平成22年度一搬会計補正予算
1億7420万円を追加し
総額60億3004万円

〔主な質疑〕

〔浜村議員〕

問 小中学校の設備工事は扇風機やエアコン設備のための予算か。

〔教育長〕

答 熱中症対策として扇風機を小学校4校に120台、中学校2校に78台設置する。エアコンは、六栄小、腹赤小の図書室に設置する。

〔磯野議員〕

問 プレミアム商品券補助事業の内容は。

〔まちづくり課長〕

答 地域活性化を図るため商工会がプレミアム商品券を発行するのでそのため補助するもの。

〔浦辺議員〕

問 金魚の館の修繕工事内容は。

〔まちづくり課長〕

答 館の屋根及び館の内部を予定している。

〔川本議員〕

問 地域活性化を図るため住宅リフォーム助成制度の実施を。

〔まちづくり課長〕

答 今後、定住化促進対策の一貫として検討したい。

全員賛成 可決

長洲町国民健康保険特別会計補正予算

〔内容〕

歳入歳出それぞれ755万円を追加し、総額20億7468万円とする。

全員賛成 可決

長洲町老人保健特別会計補正予算

〔内容〕

歳入歳出それぞれ4万円を追加し、総額6149万円とする。

全員賛成 可決

職員の意識改革で 税の徴収率向上

—奈良県—

王寺町—

- 平成16年度
税の合計徴収率 80%
- ↳ ※職員の意識改革
- 平成21年度
税の合計徴収率 98%
- (奈良県でトップ)
- ※職員の意識改革の具体例
- 滞納繰越額減少のため
の目標を明確に定める。

- 未接触者の調査を徹底的に進め、時効欠損を阻止。
- 滞納者の目線ではなく、納期内納税者の目線で考える。
- 訪問徴収は納期内納税者との公平性から廃止。
- 地区別担当制から組

織的滞納整理へ。
○仕事をすればするほど認められる環境へ。

職場のモチベーションアップにつながった。本町でも参考にされるよう、またこのような自治体の取り組みを職員研修として取り入れるよう3月議会にて報告。

災害に強いまちづくり

—奈良県 広陵町—

- 広陵町は今後東南海、南海地震が発生する恐れがある。↳
- 「広陵町地震防災対策アクション・プログラム」を策定し推進。

- 自主防災組織の育成
補助金を交付し、自分たちの町(区)は自分たちで守るという意識を育成。
- 防災士の育成
人づくりを目的としたもので、諸費用は町負担。



役場横には緊急物資倉庫

まんこのう町は、人口2万500人、世帯数7118世帯、高齢化率30%の町である。全国的な傾向である高齢化の進行による交通弱者の足の確保、また町財政状況のひっ迫により、効果的で効率的な公共交通の仕組みづくりが求められ、この部分においても本町とも似通っているものであった。運行主体である商工会に移動し予約セン

ターでオペレータの説明も受けた。本町でも10月から実証運行が予定されている「デマンド型乗合タクシー」将来を見据え、本町にあった地域公共交通体系を築き上げるのに十分な検討が必要である。



予約センター業務を視察

子ども達に 温かいごはんを

—高知県—

南国市—

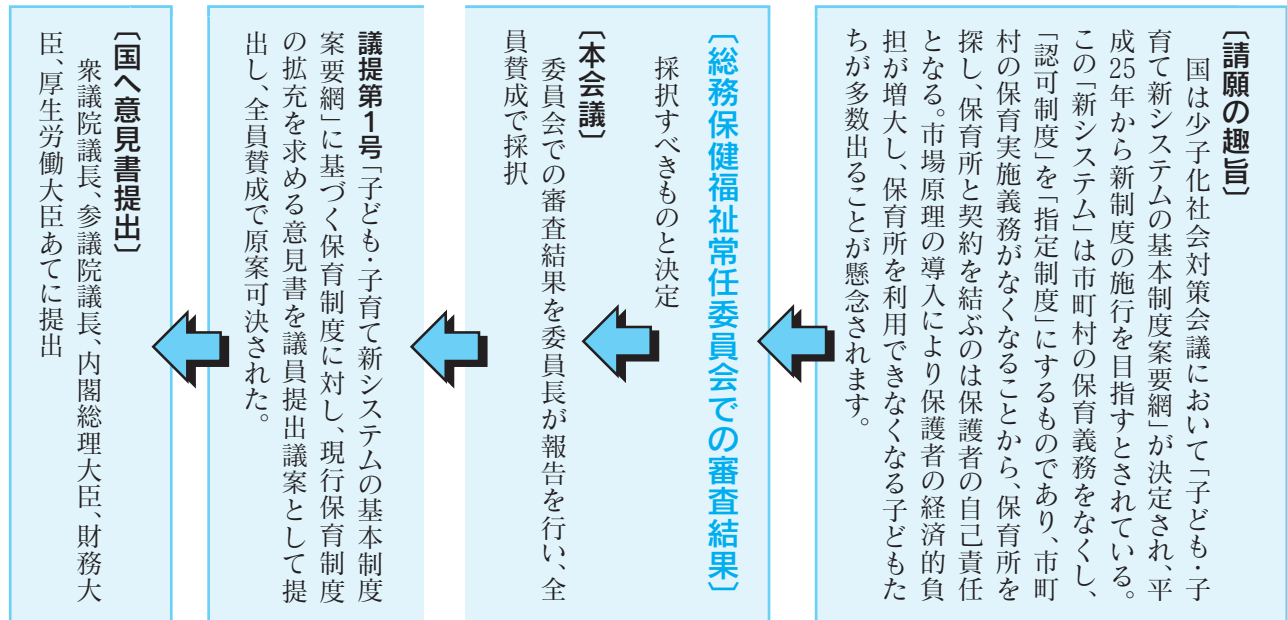
南国市の取り組み
平成17年から「食育のまちづくり宣言」をされ、食育のまちづくり条例を制定される。特に学校給食では平成10年から家庭用電気炊飯釜を使用し「ほっかほか」のごはんを子ども達に提供し米・おかずについては地元産の旬の食材を使用し地域生産者の意欲向上により耕作放棄地の

減少をもたらした。
本町の現状は学校給食を荒尾市に委託している。成長期の子どもにとって、この時期こそが味覚、嗜好の形成期であり、一生の食志向をも決定する大切な時期である。本町でも温かいものは温かく、お昼時には、おいしいにおいがしてくるような学校給食を強く願う。



食育についての熱い思い

現行保育制度の拡充を求め 国へ意見提出



大地震で被害に遭われた
地域の復興と被災者の
方々の支援のために

〔設置期間〕

平成23年3月14日
から当分の間

〔設置時間〕

各施設の開放時間
(休日等閉庁日は除く)

義援金箱の設置場所

- 町役場1階(住民環境課窓口)
- 保健センター(すこやか館)
- ながす未来館
- 中央公民館
- 健康福祉センター
- 地域福祉センター
- 町民研修センター
- 総合スポーツセンター

長洲町議会議員一同

平成23年3月11日に発生しました
東日本大震災におきまして、被害に
遭われました皆さまに心よりお見舞い
申し上げますとともに、犠牲になられ
ました方々と、ご遺族の皆さまに対し
まして、深くお悔やみ申し上げます。

真心の義援金

平成23年5月1日現在 6,150,594円

特集

議会50年の歩み

昭和46年～50年編

長洲町総合振興計画

策定される(第一次)

昭和46年3月に目標年次を昭和60年として、長洲町総合振興計画(第一次)が策定されている。当時の議会で人口想定、今後の農業の方向性、交通網、港湾整備等について質疑がなされている。

長洲町総合振興計画基本構想(第一次)

目標年次 昭和60年
人口想定 昭和60年における人口
四万七、〇〇〇人とする

◆ 当時の質疑

問 第一次産業の農業、現時点で第二次産業へいけるのか。

答 第一次産業は全人口で四一・三%がその昭和六十年次には、第一次産業は八%程度になる。

今後の農業は、はたして農業だけで生活が他産業なみに維持しているか疑問視されている。今後の農業の進み方は第一種が第二種にな

り、第二種的な人がある程度離農される方向をたどるものと考えている。

問 港湾の問題は、振興に努力するとあるが、日立が来て利用が多くなる。漁港も別について必要があると思うが。

答 県が担当するが、将来の有明新港問題を検討するし、調整を図ることである。

長洲町のあゆみ(昭和46年～50年)年表

昭和46年	昭和47年	昭和48年	昭和49年	昭和50年
三月 長洲町総合振興計画策定(第一次)	三月 腹赤漁業協同組合漁業権放棄	五月 中逸光町長就任(二期目)	二月 大字有明埋立工事完成(一、五三三、〇〇〇㎡)	三月 新山区に町営住宅団地完成
三月 菜切橋完成	三月 長洲港荷揚場完成	八月 皇太子殿下ご夫妻来町	三月 町章決定(公募)	三月 六栄保育所新築
三月 中央公民館落成	三月 名石浜工業団地埋立開始	八月 第一回 長洲町夏祭り	三月 農業振興地の線引き	三月 鹿兒島本線急行「ぎんなん」号長洲駅停車
五月 町体育協会発足	三月 老人憩の家落成	八月 六栄小学校校舎落成	三月 葉山橋完成	三月 重度心身障害児の医療費助成スタート
六月 長洲小学校プール完成	三月 梅田・中学校線道路開通	十月 町議会議員選挙	三月 葛輪橋完成	
八月 腹赤中学校プール完成	三月 九州丸一網管(株)他七社	十二月 有明消防組合長洲分署設置	四月 長洲第一保育所新築	
九月 塵芥焼却場完成	三月 名石浜工業団地埋立開始		四月 新塘緑化事業始まる	
十月 学校橋完成	二月 腹赤漁業協同組合漁業権放棄		六月 腹赤六栄上水道拡張工事完成(通水開始)	
	三月 長洲港荷揚場完成		七月 大字名石浜埋立工事完成(一、一八九、九六九㎡)	
	三月 名石浜工業団地埋立開始		九月 姫ヶ浦総合レクリエーションセンター 埋立工事着工	
	三月 老人憩の家落成		十月 日立造船本格操業開始	
	三月 梅田・中学校線道路開通			
	三月 九州丸一網管(株)他七社			
	三月 名石浜工業団地へ進出			
	三月 農集電話開通			
	三月 町体育館落成			
	四月 日立造船有明工場起工式			
	四月 有明消防組合発足			
	八月 日立造船宮野社宅完成			
	九月 長洲中学校プール完成			
	十一月 有明工業用水道工事始まる			

長洲町議会50年史 好評発売中

ぜひ、ご家庭に1冊ご購入ください。



価格
3,000円
(税込)

町民のひろば

傍聴席から一言



田中 郁子さん (団体職員)

JAたまな女性部長洲支部の皆さんと一緒に傍聴に行きました。女性部の皆さんは毎年傍聴されているとの事ですが、私は初めてです。どんな事を議論しているのかと耳をかたむけて聞いていると、教育の事から税金、予算、地域の事と内容すべてが盛りだくさんで、聞いているのがやっとでした。普段疑問に思っている事などを何度も何度も議論されていて、議員皆さん長洲町の事、地元の事を大切に思っているからこそだと思いました。次に傍聴に行く時は一般質問の時に行き、住民の身近な疑問をどのように町が考え受け止めるのか、皆さんと一緒に考え町政に参加していきたいと思えます。

町民の一言



長洲軽トラ市

「長洲町の地域振興の発展の為に」を目的として第一回長洲軽トラ市が3月26日金魚と鯉の郷広場駐車場で開催されました。軽トラ市とは軽トラックで出店する市場のようなものであり約30店舗の出店で駐車場は所せましと賑わいを見せており、長洲ならではの金魚をはじめ地元の採れたて新鮮野菜から果物、鮮魚、海産物、加工品、木工品、工芸品、焼きそば等お買い得商品が満載でした。

遠方からの出店者の方も「今までいろいろな所で出店してきたけれど今回のように賑わいをみた軽トラ市は久しぶり、是非これからも出店参加していきたい。」と喜びの声を頂戴しました。

第4日曜日といえば「長洲軽トラ市」と町民の皆様が親しまれ、地域に根ざした取り組みをこれからも皆様と共に育て、成長させていきたいと思っております。出店者、来場者の参加をお待ちしております。みなさんも軽トラ市覗いてみませんか？

ひとこと

東日本大震災から一ヶ月が経過した。あらためて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。今でも連日、被害状況が報告されている。死亡者の数、不明者の数、いったいどこまで増えていくのだろうか。被災された方々の心情を思うと涙があふれて止まらない。私はかつて、宮城、岩手の海岸沿いの町を何度か、仕事で訪れたことがある。あの時やさしくしていただいた人達の笑顔

皆さん傍聴に来て下さい。

次の定例会は
6月20日開会の
予定です

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

議長	松井 一也
発行責任者	
委員	川本 幸昭
委員	上野 弓雄
委員	浜村 芳光
委員	磯野 博
副委員長	樋口エミ子
委員長	市原 一広
広報委員	

は今でも宝物だ。海外からも含め国民一人一人が被災地の一日でも早い復興のために立ち上がっている。何年かかるか分からないが、また笑顔が戻る日が来ると信じ、支援の輪を広げていこう。ガンバレ東北！ガンバレ日本!! (市原)